

応援クラスマッチ開催！気迫の応援を披露

インフルエンザの影響で延期した本校伝統の応援クラスマッチが6月2日(金)に赤湯小学校体育館にて多くの保護者、地域の方々をお迎えし開催されました。スローガン「全身全霊～地域に放て我らの力～」のもと、各組とも赤小・中小の児童、保護者、地域の方々の心を揺さぶる気迫の応援を披露しました。結果、最優秀応援団結賞は青組、優秀応援団結賞はピンク組が獲得しました。終了後、組毎総括を行い、これまでの頑張りを讃えました。

今後、NCVの特別番組で練習から応援クラスマッチまでの取り組みが放送されます。



赤中農園で今年も野菜作りに取り組みます！

高橋栄介先生のご実家の畑をお借りして、今年も赤中農園での野菜作りを行います。今年度は、食育の一環として技術・家庭科の学習の中で活動を行います。沖郷中から耕運機をお借りしての畝(うね)作り、除草作業、野菜の苗植え等を行いました。写真は2年4組の作業後集合写真です。美味しい野菜が収穫できるよう、水やり、除草を頑張りました。



「伝える力」を高めよう！

今年度本校では、身につけた知識や技能、情報から、自分なりの考えを持ち、それを表現する力、この「思考・判断・表現」の力を学校全体で高めていく取り組みを展開します。これまでは習得(インプット)に力をいれてきましたが、習得した内容を踏まえた表現(アウトプット)にも着目し、一人一人の伝える力を高める教育活動を意図的に行います。それは、これからの授業、学級活動、生徒会活動など、様々な場面で継続して行っていく予定です。

先日の全校朝会では、全校生徒に今年度の取り組みについての説明が行われ、生徒一人一人がその必要性や大切さを理解して取り組んでいこうと確認しました。また、「伝える力」を高めるために、「笑・ku・bo スピーチ」を各学級で行っていくことになりました。1学期は、気になる新聞記事についての自分の考えを伝えるスピーチに取り組みます。生徒代表の3年川崎優希さんと教師代表の奥山優美先生より、モデルとなるスピーチの発表があり、皆、興味深い表情で聞き入っていました。この「笑・ku・bo スピーチ」の取り組みは、翌日より各学級でスタートしています。



赤湯小学校創立144周年記念集会にて吹奏楽部が記念演奏

6月8日(木)の赤湯小学校創立144周年記念集会で、本校吹奏楽部2・3年生(31名)がお祝いの記念演奏を行いました。吹奏楽部の演奏に引き込まれるような表情で聴き入る小学生の表情がとても印象的でした。

中学生の繊細でリズムカル、そして迫力ある演奏に、小学生達は自然と心も体も揺さぶられ、爽やかな朝の一時を過ごしながら学校の誕生日をお祝いすることができたという小学校からの感謝の言葉をいただきました。また、小学生からは、「一つ一つの楽器の音が重なってきれいだ。」「来年中学生になるので、中学生の皆さんのように勉強も部活も全力でがんばる中学生になりたい。」などという感想が寄せられました。

赤湯小学校の創立記念を共にお祝いすることができた、うれしい一時となりました。



ジェイ先生にご指導いただきます！

南陽市 ALT のジェイ先生が6月5日より今年度最初となる赤中勤務をされています。赤湯中は力強い応援が印象的で、一体感があるイメージだそうです。ALT2年目を迎え、学校の流れも分かってきたので、一人一人の英語の力を伸ばせるよう精一杯頑張りたいとはりきっておられます。

今回は6月末までの勤務ですが、10月と来年2月にもご指導いただく予定です。

